

平成 2 1 年度
交通局予算要求方針

【目次】

- 1 平成 2 1 年度交通局予算要求総括表 1
- 2 平成 2 1 年度交通局経営方針 2
- 3 重点的に取り組みを行う主なもの 3

1 平成21年度交通局予算要求総括表

【交通事業特別会計】

平成21年度要求総額 2,407,830千円
 (平成20年度予算額 2,388,490千円)
 前年度比 0.8%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成21年度 予算要求額 A	平成20年度 予算額 B	増 減 A - B
バス運行事業	2,335,495	2,315,001	20,494
バス車両定期 車体改修事業	25,650	25,250	400
幅広電照式バ ス停標識設置 事業	4,016	3,465	551
企業債償還金 等	42,669	44,774	2,105

2 平成21年度交通局経営方針

交通局では5カ年の「市営バス事業経営改善計画」を平成18年度から実施しています。この計画では、「平成20年度までに経常収支及び単年度資金収支を黒字化する」という目標を設定し、平成21年度には結果を検証したうえで、目標を達成できなければ民営化、達成できれば次期5カ年計画を実施して、以後の経営形態について判断することとなっています。

このため、平成21年度においては現在実施している経営改善計画に引き続き取り組むとともに、公営企業として、市民・利用者の皆様へのサービスの向上を図ります。併せてこれまでの経営改善計画の効果を検証し、今後の経営形態のあり方を検討します。

(1) バス運行サービスの向上

課題

- ・安全運行の確保と利用者サービスの向上

方針

- ・定期的な車体改修を行い、車両事故・故障の未然防止に努めます。また、接遇研修・事故防止研修等により、ソフト面における安全運行の向上を図ります。
- ・公営企業として、お年寄りや障害者の方々をはじめとする交通弱者の方々に配慮した運行に努め、ノンステップバスなどの運行を継続します。

(2) 「市営バス事業経営改善計画」の継続実施と検証

課題

- ・独立採算制を堅持した経営健全化の推進

方針

- ・平成18年度から実施している経営改善計画を引き続き実施し、計画に掲げた経費削減や増収・増客対策などの取り組みを着実に進めます。
- ・想定外の原油価格の高騰に伴う燃料費の増加など、厳しい経営環境の中で、一層の経営改善策に取り組めます。
- ・これまでの経営改善計画の効果を検証し、今後の経営形態のあり方を検討します。

3 重点的に取り組みを行う主なもの


2・継続

(1) バス運行サービスの向上

接遇研修、事故撲滅研修の充実

高齢化が進展する中で、高齢者や障害者の方々をはじめとする交通弱者の方々に安心・快適なご利用をしていただくため、バス乗務員への事故防止や接遇向上等を目的とした研修等を行い、ソフト面においてもより一層のバス運行サービスの向上に取り組みます。

障害者等に対応した車両の運行継続

スロープ板を装備し交通バリアフリーに対応した超低床のノンステップバス(9台)やワンステップバス(41台)の運行を継続します。また、車椅子対応型及びスロープ付バスが一目で分かるように、バス停に掲示の時刻表や乗合バスの方向幕及び乗り口扉近くへの (車椅子マーク)の表示などを行ってきましたが、引き続き交通弱者の方々に利用しやすい環境整備に努めます。

環境に優しい運行の推進

信号停止時や渋滞時におけるアイドリングストップ、転回地での待機時間におけるエンジンカットなど地球に優しいバスの運行を推進します。また、家庭から排出された廃食用油をリサイクルした『バイオディーゼル燃料』を一部の乗合バスに使用するなどの環境への取り組みを継続します。

2・継続

(2) 経営健全化の推進

公営企業としての独立採算制を堅持しながら、引き続き経営改善計画を実施するとともに、人件費を中心とした経費の削減や貸切バス事業・広告事業等の営業活動の強化など、一層の経営改善に取り組みます。

【成果指標】

収益的収支

【目標】平成19年度決算	平成21年度予算
12百万円	2百万円(効果：14百万円)

単年度資金収支

【目標】平成19年度決算	平成21年度予算
69百万円	22百万円(効果：47百万円)